

メンタル不調の良導絡治療

～良導絡測定を皮膚交感神経の指標として～

皮膚はバリア機能、免疫、体温調節、水分代謝、感覚受容器など様々な役目を持つ器官であり、自律神経の情報を伝え、電気抵抗も持っています。

そしてこの皮膚の電気抵抗（通電抵抗）と皮膚交感神経には密接な関係があることが明らかになっています。

良導絡測定は皮膚の電気抵抗（通電抵抗）を指標として交感神経のはたらきを客観的な数字に変換し東洋医学の経絡と関連させグラフ化したものです。

メンタル不調の人々においては、交感神経の過剰な活動が見られることがあり、これがストレスや不安と関連していると考えられていることから、この測定はメンタル不調の評価にも役立つと考えられます。

講義では

- 1, メンタル不調の概要
- 2, 交感神経とメンタル不調
- 3, 良導絡測定の成り立ち
- 4, 良導絡治療の方法
- 5, 症例報告（良導絡測定の解析）
- 6, 結論と今後の展望

以上についてお話させていただきます

